

三條別院のご案内

三條別院に想う

三條別院に職員としてお世話になり、あと一ヶ月で一年となります。淡々と過ぎ行くようで何か慌ただしい一年がもうすぐ終わるなど感じると、この一年間で自分が何をしてきたのか。また何をしようとしてきたのかと振り返らずにおれません。事務仕事に慣れず右往左往する日々の中で、本堂の掃除や草むしりなどしか出来ていなかったのではないかと思う訳です。その折先輩から「その掃除が大切な別院の仕事だ」と言われればそのよくな気にもなってきます。そしてその掃除の際、柱であり、床であり、その刻まれた傷一つ一つに三條別院の歴史を感じる訳です。また、各奉仕団や煤払い、お磨きを「門徒さん」ともに行っていると今まで三條別院を護持されてこられた方々の「苦勞に頭の下がる思いです。」

現在はお寺に人の集まらない時代と様々なところで聞きするのですが、それは三條別院でも例外ではなく、各行事やお朝事の参詣者の数も減少傾向にあると聞きます。特に若い方の姿は顕著に少なく見えます。しかしその実、別院の奉仕団等に年老いた体をおしていらっしやる方々がおられ

るのです。

ではこれからの別院を思つ時、今までの形のみで良いのであろうか。いやそうではない。では何ができるのだろうか。と、そんな自問自答を繰り返す訳です。

以前、ある人から「今、私たちの受け取っている真宗は今まで数えきれない程の無数の念仏者の歴史である。」との言葉をお聞きしたことがあります。その時の言葉がこの三條別院にありますと強く実感します。一六九〇年に東本願寺三條掛所として生まれてから三二〇年、この新潟の念仏者の聞法道場として歩んできた別院の歴史。その中で三條別院を今まで護持されてきた方々のこと。その上で三條別院をどうしていくか。

大きな課題に悶々としながら、今日も柱を磨こうと思ひます。

(三條別院 書記 松浦 武馬)

○次回の「三條別院に想う」は、

井上 知法 氏(第十三組 願性寺)より

「執筆いただきます」

■別院御影巡回が開かれました

去る一月二十四日(月)に新潟市北区の笹山公民館で、御影巡回が開かれました。

当日は、六〇名を超える人たちがお集まりになり、まず公民館に阿弥陀如来の御影を奉掛し、三

具足を荘厳し、その尊前で輪番と一緒に「正信偈」を唱和しました。

その後、輪番による法話があり、皆様の真剣に聴聞する姿を拝見させていただき、仏法を聞きたいという想いの強さを感じました。その強さが、天候の悪い中でも大勢の方の足を運ばされたのではないのでしょうか。

今回、笹山公民館での御影巡回は、四回目となります。これは、仏法を聞き続けたい、仏法を護りたいという想いが、このような場をつくり、続いているのだと感じます。

■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお遠夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【三月二十八日(月)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

有坂 次郎 氏(真宗学院第二期卒業生)

◇二〇一一年 法話講師一覧

- 四月 渡邊 智龍氏 (第十八組 恩長寺)
- 五月 斎藤 恵康氏 (第三組 廣泰寺)
- 六月 鳴澤 宏誓氏 (第十九組 長福寺)
- 七月 藤井 信彰氏 (第十四組 長樂寺)
- 八月 村山 まみ氏 (眞空学院第一期卒業生)
- 九月 井上 知法氏 (第十三組 願性寺)
- 十月 草間 朋哉氏 (第十二組 勝覺寺)
- 十一月 竹内 淳一氏 (三条教務所 主事)
- 十二月 関根 正隆氏 (第三組 長徳寺)

■定例法話のご案内

もっと聞法できる場を、もっと別院に触れていただける場をと、本年三月より(試験的に三ヶ月)別院の新年行事として、両度の命日(前門首の命日)である毎月十三日に「定例法話」をおこなうこととなりました。

- 皆様、お気軽にお越しください。
- ◇期 日 毎月十三日
- ◇時間 午後一時三十分より 一時間程度
- ◇場所 三条別院 旧御堂
- ◇講師一覧

■春彼岸会のご案内

本年の春彼岸を左記の通り厳修いたします。皆様の「参詣をお待ちしております」。

また、本年は、本山で御遠忌法要が厳修するた

め、従来、三日間(二昼夜法要)で勤めていたものを二日間(一昼夜法要)にさせていただきますので、「ご了承願います」。

尚、十九日(土)の正午におとぎを「用意いたしますので」、「希望の方は当院まで」連絡下さい。 ※詳細につきましては、同封の案内チラシを「ご覧ください」。

- ◇期 日 三月十八日(金)～十九日(土)
- ◇法要時刻
- 速夜法要(十八日)・午後一時三十分
- 晨朝法要(十九日)・午前七時
- 日中法要(〃)・午前十時
- ◇法話講師
- 速夜後 関根大丘氏(第二十組 松韻寺)
- 晨朝後 別院職員
- 日中後 鷲尾幸雄(三条別院 輪番)

■お誕生法要「子ども奉仕団」のご案内

「三条別院に」とい、親鸞聖人・お釈迦様のお誕生会を通して 共に同朋として生きてあることに気づく」のテーマの下、本年も三条別院で子ども奉仕団を開催いたします。

子ども奉仕団を通して、自分自身を見つめてみませんか。「いのちの大切さ・本当の私」のことを皆で考える大切な場となるよう、皆で育て合うよう頑張っています。多くの「参加をお待ちしております」。

- ◆会場 真宗大谷派三条別院
- ◆日時 四月三日(日)～四日(月)
- ※詳細は、案内チラシを「ご覧ください」

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階 事務所に「ございます宿泊者帳に記帳していただき、シートクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております」。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願い、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、「要望等」ございましたら「相談承ります」。

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体)へ、冥加金としまして左記のとおり頂きます。

◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円
- ◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)
- ・朝食代 五〇〇円
- ・昼食代 一、〇〇〇円程度
- ・夕食代 一、三〇〇円程度